

秋田県特別職報酬等審議会議事概要

日時：平成21年6月1日 14:00～15:30
場所：特別会議室

○ 人事課長から諮問事項の説明があり、その後質疑応答。

木村委員	減額の期間を3年10か月とした理由は何か。
人事課長	5月臨時会で期末手当のカットを4年間という現任期中としたので、給料についても任期が切れる25年4月までとした。
新開会長	本県のようにこの時期に再度検討に入ってるかどうかについて全国的な状況は把握しているか。
人事課長	各県とも開始時期や期間がバラバラなので、常に最新の状況を把握するのは難しく、把握していない。
新開会長	カットしている県が大半だが、動きとしては今後も継続するという流れになっていると解釈して良いか。
人事課長	全国的にこういう経済情勢なので、趨勢としてカットをやめようというような状況にはなかなかかなりにくいと感じている。
新開会長	これまでと違う点は、期間が今まで2年だったのが、今回は知事の任期中ということだが、何か意見はないか。
塚本委員	期間というのは全国的にバラバラなものか。
人事課長	各県とも2～3年となっている。
塚本委員	全国順位については、どう考えればよいのか。
人事課長	あくまでも参考ということで、ご理解いただきたい。本県と似通った県でも順位は上の方にあたりして、それぞれトップの考え方が反映されていると思われる。
小玉委員	九州はカットしていない県が多いのはなぜか。
総務企画部長	まわりの県の状況を見ながら決定していくので、地域ごとに類似の傾向になりやすい。九州は最近まで自動車産業で景気が良かった。熊本は知事選挙でカットが争点となって実施された経緯があり、鹿児島は財政再建で大幅にカットすることとなったが、経済状況が変わってきたので他の県もこれから検討を行うのではないかと思われる。

柴田委員	全国的に見れば45位と低いところになるが、このような不況下で民間と公務員の差が非常に大きくなっており、削減は残念であるが、やむを得ないと思う。
稲場委員	今の社会状況を考えれば、民間との差が大きくなっていくし、減額はいたしかたない。何事においても公務員のありようが基準になっていくと思うので、減額をおそれず、県民にとって一番良い給料になっていったら良いと思う。
清水委員	全国的に減額傾向であるし、厳しい県財政の事情も分かった。今回の知事の減額はいたしかたないのかなと思う。労働者側から見れば公務員の給料は非常に影響が大きいので、どれだけ民間に影響が出るか危惧される場所だが、今回はいたしかたないということで賛成する。
小畑委員	基本的には賛成だが、期間は短い方が時代に則して実施できるし、短くても問題ないと思うので、今後検討していただきたい。
総務企画部長	諮問は現任期の姿勢として期間を任期中としたところであるが、その間の民間の状況によっては必要に応じて見直しを行うべきと考えている。
渡邊委員	知事の気持ちは分かるが、やはり4年は長いと思う。期間は2年にして、2年後に再度検討すべきと思う。あと、もう少し議論のできる資料なり会議の場にはできないものか考えていただきたい。
新開会長	審議会としての付帯意見を付けて答申することはできるので、状況変化が激しいときには2年で見直すようにという意見を付けることはできる。
小玉委員	大変勇気のある諮問だと思うので、この諮問には賛成である。
新開会長	私も4年は長いなと感じた。もっと状況が悪くなってさらにカットするような状況も考えられるが、状況がもっと良くなることも考えられて、そうなることが望ましいので、これが県内企業全体に影響を及ぼすということであれば、良い時はカット率を戻すということも視野に入れて2年で見直すというあたりが良いと思う。 いろいろな意見があったが、カット率は基本的に承認し、期間の問題は、4年というのは知事の強い意向でもあるようなので、このまま承認をしながらも、状況変化が急激な場合には2年後には再検討をするように意見を付けて答申したいと思うがいかがか。
各委員	異議なし。